

長野県伊那弥生ヶ丘高等学校グランドデザイン 2023

～自主の道、未来を開く～

教育目標

「自主自律」「文武両道」の精神のもと、文化や社会の担い手として、全人的教養とともに、理性的判断力、豊かな創造力を備えた人間を育てる

育てたい資質・能力～こんな生徒に育ててほしい!!～

知徳 兼ねつつ たくましく

社会性

人権尊重の上に豊かな人間関係を築く力

学力

学力向上への強い意志と態度

判断力

広く深い見地から判断する力

自律性

主体的、かつ責任ある行動をとる力

実行力

互いに協力し、困難に立ち向かう力

創造力

未来に向けて社会の創造と発展に貢献する力

本校の学び～このような教育を行います～

類型制による選択科目

2・3年次に文理に分かれた類型制により、進路に応じた自主的・自律的な学びを支援します。



アクティブな授業

全教科で協働学習、課題解決型授業を取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成します。

未来を開くキャリア教育

3年間を通じた体系的なキャリア教育により、社会と自分の生き方を関連付けて考えます。

ICTを活用した学習

多様な学習法の実践で、授業・家庭学習における一人一人の学力に合わせた学習を推進します。



充実した探究学習

年間を通して地域の団体と連携しながら課題を見つけ、解決に向けた学びを行います。

このような生徒を待っています

- ① 本校の学習内容、教育活動に関心を持ち、進路実現に向けて積極的に取り組む生徒
- ② 学習、クラブ活動、学校行事など、何事にも興味を持ち、全力で努力できる生徒
- ③ 日本・世界への見聞を広め、地域社会やグローバル社会に貢献しようと思っている生徒

伊那弥生ヶ丘高校「総合的な探究の時間」グランドデザイン

弥生探究の合言葉：^う ^ー ^だ - observe orient decide act
!OODA- O O D A! *!OODA(^{observe}よく見て聞いて、^{orient}データを 集めて状況を理解して、^{decide}判断して、^{act}動く)!

身につけたい「8つの力」

「きく力」「対話力」「課題発見力」「判断力」「実行力」「思考力」「表現力」「創造力」

1年生

探究基礎(前半)

探究のための基礎的手法を学び
 「型」を身につける
 ステージ1「基礎手法を学ぶ」
 ・対話、表現、調べ方
 ステージ2「Logical Thinking」
 ・論理的思考力・表現力

課題探究×郷土愛プロジェクト(後半)

・地域の魅力や課題を知る・調べる
 ・行動する・分析する

2年生

アクションを起こせ

アカデミックチャレンジ(高大連携)(4~6月)

大学の先生からいただいたお題(問い)に対して、自分で考えた進め方で仮説を立て、資料を集め、分析・検証して、「こたえ」を探究する

個人探究(7月~)

自分自身の問いをたて、【仮説~資料収集・アクション・分析~検証】のサイクルをすすめ、発表する

3年生

卒業後の自己実現に向けて、
 1, 2年次の学びを活かす
 ・自身の学びを深化させられる
 進路は何か(進路研究、志望理由書)
 ・その学びをどう表現するか
 (小論文、面接・プレゼンテーション等)
 ・進路希望を実現させるために必要な
 学力は何か

<たくさんのサポーター>

- ・郷土愛プロジェクト
- ・県内各大学(アカデミックチャレンジ)
- ・信州大学農学部(伴走者としての学生参加)
- ・信州大学教育学部 荒井教授(学術研究院)による講演
- ・伊那商工会議所(伴走者としてアシスト、講師派遣など)
- ・伊那北高校(ピア検証、発表会交流など)
- ・ロータリークラブと連携(地域企業から講演・アドバイザー参加等)
- ・国立信州高遠青少年自然の家(探究オリエンテーション合宿)

<探究のツボ>

1. 自分の問いを見つけることに時間をかける
 (自分の興味や「好き」を追求して、誰かが喜ぶ、誰かの役に立つ問い)
2. 「研究」≠「探究」 ※ 結果 < プロセス
3. 答えのない学びを楽しむ(「見えにくい学力」「見えない学力」を育てる)
4. オリジナルデータを取って仮説を検証 ※調べ学習で終わらない
5. 仮説を立ててアクション、結果を検証する ※体験学習で終わらない
6. 失敗することで成長する ※トライ&エラー
7. 検証を通じて、気づきを増やし学びを深める
 ※(本校・他校生徒との)ピア検証、信大生の伴走…
8. 主役は生徒。教員や講師はファシリテーターやアドバイザーとして生徒を支援する

アカデミックチャレンジ(2年)

2023.0420

今年度新たにはじまった取り組みです。2年次後半からの個人探究(自身で「問い」を立てて追究する)に向けてヒントを得るため+学問探究(研究)の魅力を発見するため、大学で探究(研究)されているテーマ(「問い」・課題)に対して、高校生自身で考えた進め方で、仮説を立てる/仮説の根拠となる資料を集める/資料を分析・検証する/導き出した「答え」をレポートにまとめる…ということに挑戦してみます。

初回は、県内の大学の先生12名を講師としてお招きし(オンラインで参加していただいた先生もいました)、講義やグループワークを通じて、高校生に対して先生方の専門分野に沿った「問い」を提供してもらいました。今後、与えられた「問い」に対して、高校生が自分なりの「答え」を出して大学の先生に提示します。6月末には、高校生が出した「答え」に対する、大学の先生からのフィードバック・振り返りの講義をいただく予定です。

与えられた「問い」の例(生徒の授業振り返りより)

繊維、衣服、ファッションの未来について考えてください。

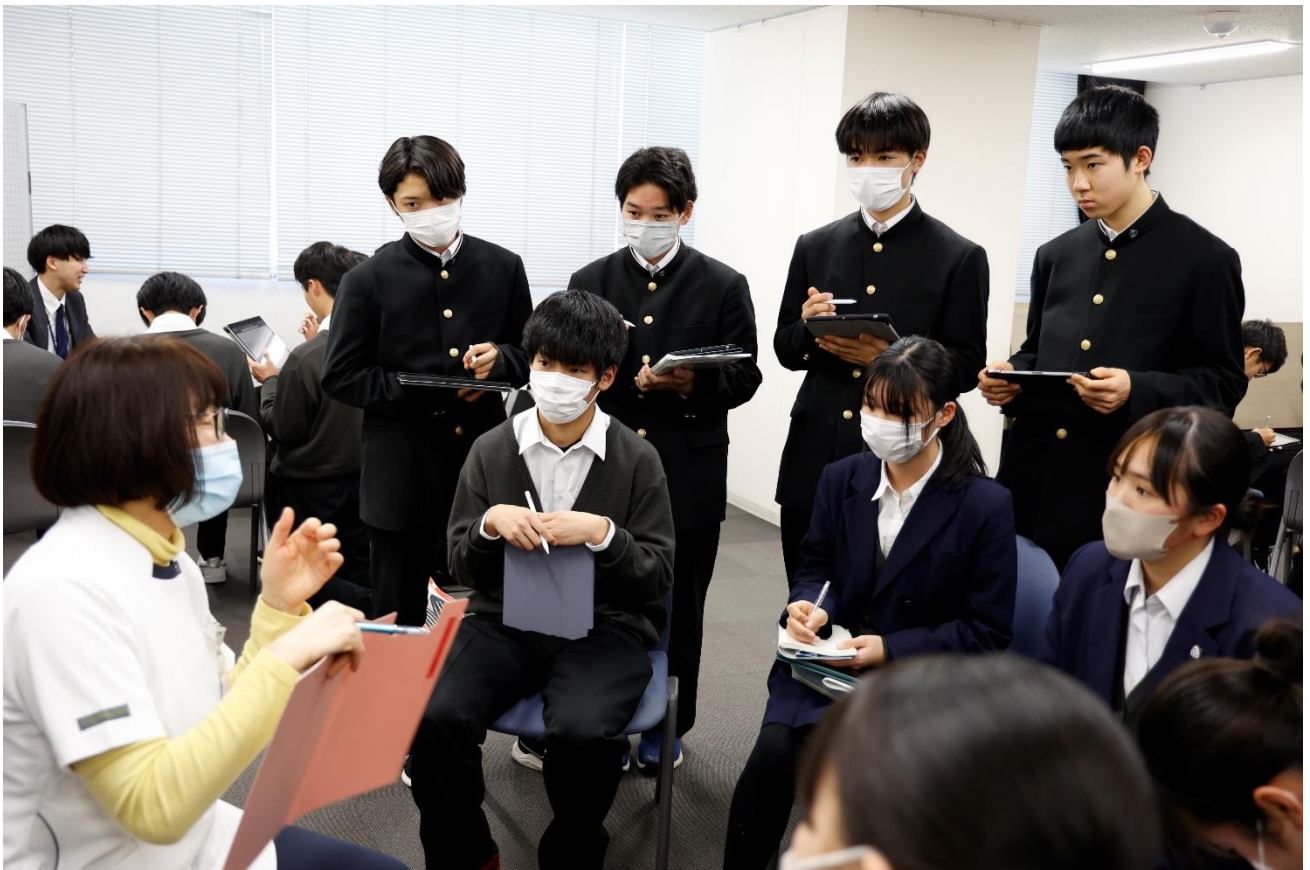
あなたらしさを見失わずに、自分が納得できる
意思決定はできるでしょうか？

地域再生や地方創生に向けて、地域の課題を見つけて
その改善策を具体的に考えてください。

スポーツにはどのような力があるのか？

虐待体験を持つ子どもを支援するためには、
どのような専門性(役割)が必要だろう？

実験に基づく研究と解析に基づく研究はどのような違いがあるか？





デジタル弥生徒然

2024年1月

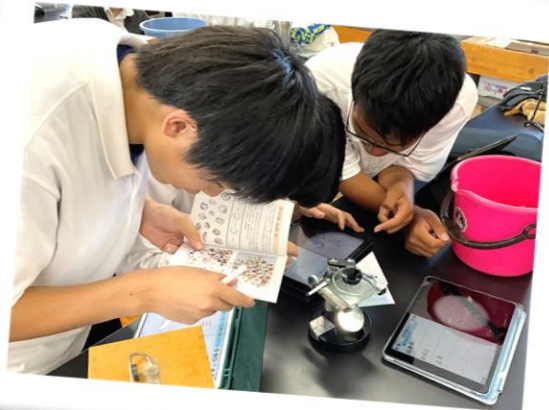
弥生で生徒1人1台端末が始まって3年目。様々な場面でiPadを活用しています。iPadをふだんの授業で使って慣れた生徒たちは面白い場面でも使っていたので、ちょっとだけ様子を紹介します。

・美術の作品作りにもイチョウの観察ではなく、クレイアニメのようなストップモーション作製です。良い発想がすぐ形になっていました。



・メモと共有と調べ物と春にあった憲法学習の様子です。授業以外の活動でもグループワークのときにメモしたり、図を見せたり、調べ物をしたり。

・実験、実習でわかりやすく顕微鏡観察の像を撮影してグループ内で共有しています。画像にしておけば簡単に伝えられるので活気が出ます。



・テスト勉強でもiPadで色々と9月の考査最終日に向けて放課後も勉強。タブレットの使い方はみんなそれぞれ。授業の復習、配信された課題を解く、学習時間の記録など様々でした。

iPadはふだんの授業でも活用していますが、応用が利くので様々な場面でも使っています。今回はかなり学習よりの様子をお届けしましたが、次があれば違う様子もお伝えしたいです。